

令和２年度 第７回定例会（９月会議）一般質問

令和２年９月１０日

質問 順	議員氏名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の 相手
1	福本 悟	1 自主財源の確保対策について	地方自治体の歳入には、性格の上から自主財源と依存財源の２種類に分かれ、又、使途の面からは一般財源と特定財源に分かれるなか、将来の少子・高齢化の進展等による人口構造の変化に伴い、町が自主的に収入できる自主財源が減少すると考えられる。町長は、本町における自主財源の現状をどのように認識し、その確保対策を担当課でどのように論議し具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		2 公有財産（公園及び調整池）の適正な管理について	町が所有する財産は公有財産と呼ばれ、公有財産は行政財産と普通財産に分類されるなか、財産管理については良好の状態においてこれを管理し、その所有の目的に応じて最も効率的に、これを運用しなければならないと定めてある。町長は、行政財産である公園及び調整池を管理するなかで現状をどのように認識し、適正な管理を図るために担当課でどのように論議し、具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
2	福永 啓	御船竹バイオマス問題に関するすべての裁判が終了したが、この問題を町はどう総括するのか。	（１）なぜこのような問題が起きたのか。 （２）再びこのような問題を起こさないためにはどうすればよいのか。	町 長
3	岩永宏介	御船町の財政構造、状況、将来見通しについて	（１）現在の財政状況をどのように捉えているか。 （２）今後、財政運営をどのように行っていくか。	町 長

4	増田安至	1 御船町の危機管理体制を問う	(1) 災害発生時の町の対応計画は進化できたか。受援計画と想定訓練計画はどうか。 (2) 医療機関との危機管理体制は十分か。医療機関からの意見聴取の結果はどうか。 (3) 有事の際の協定はできたか。協力体制の整備は十分か。 (4) 町や広域連携での連絡体制はどうか。関連団体との意見交換で何を確認できたか。 (5) 「新たな日常の実現」に向けた取り組みは。プロ人材を含む人材への積極的取り組みはできたか。デジタル技術への積極的な投資として ICT 環境の整備は十分か。新たな社会的事業主体の育成はできたか。	町 長
		2 御船町マスタープラン改定について問う	(1) 町の上下水道整備計画について水道水の濁り問題など報告があった。インフラ整備は今後どの様に計画されるべきか。 (2) 住民の安否確認の方法について生活困窮者の孤独死防止のために何を検討すべきか。	町 長
5	藤川博和	1 施工管理体制について	落札された物件を各所管ではどのような施工管理体制で監理されているか。法令では下請業者は施工体制台帳に記載するとされている。又、施工体系図も現場に設置すると法令で定められているが現状はどうなっているか。	町 長
		2 電子入札・入札制度について	電子入札導入はどのようになっているのか。又、入札制度が指名競争入札から、一般競争入札、条件付一般競争入札を採用している県市町村が多くなっているが、入札制度を改善する計画はあるのか。	町 長
6	田上英司	1 児童・生徒の安全確保活動について	(1) 御船町の児童数・生徒数（8月現在）は。 (2) 先般の8月までの町独自の見守り活動の成果は。 (3) 現行の見守り活動の方法論は。	町 長 教育長

		2 建設業者に対する行政指導の徹底について	(4) 知恵とお金を出し犯罪防止環境づくりをすべきと思うがいかがか。 (5) 継続性ある活動組織の発足と行政の応援は。 (6) 管内小中学校全教室エアコン設置状況は。 (1) 工事の事前広報は行政・業者どちらか。 (2) 特に夜間工事の広報の徹底はどのようになされるのか。 (3) 事前広報の徹底により行政への不信感を払しょくすべきと思うがいかがか。	町 長
7	森田優二	御船町地域防災計画及び水防計画について	令和2年7月豪雨では熊本県南部地域において、これまでにない災害をもたらした。また、今までの災害だけでなくコロナ禍における問題点をどう捉え、どのような対策を講じ、地域防災計画等において、どのように見直しを行うか。以下のことについて問う。 1 災害に強いまちづくりについて (1) これからの豪雨災害を想定した地域防災計画の見直しについて (2) コロナ禍における避難所と備蓄品の整備について 2 危機管理体制について (1) コロナ禍に対する危機管理体制について (2) 議会に対する危機管理体制について 3 消防団体制について (1) 消防団体制の活性化について (2) 団員確保並びに処遇改善について (3) 水防計画における消防団の位置づけについて	町 長